

平成31年3月25日

宇部市長 様

宇部市地域創生事業助成金実績報告書

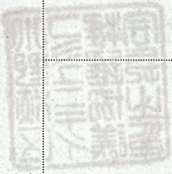
団体名 小野校区コミュニティ推進協議会
代表者氏名 村谷 啓介



平成30年6月28日付け指令宇コ共第8号に係る事業が次のとおり完了したので報告します。

事業名	小野和紙づくり活性化&継承事業
事業の完了年月日	平成31年3月14日
事業の総括について	<p>小・中学校と連携して小野に伝わる伝統文化の大切さを児童・生徒に伝える事ができた。</p> <p>また、本庶佑先生の賞状を作成する機会にも恵まれ、小野和紙のPRも十分に達成できた。</p>
事業の達成度について (参加人数等)	<p>紙すき作業だけではなく楮取り作業などのボランティア活動についても生徒に積極的に参加していただき、中学校との連携は例年以上に達成できた。</p> <p>また、初めて小学校との連携に取り組んだ結果、小学校児童にも紙すきの伝統文化の大切さを伝える事ができた。</p> <p>さらに、本庶佑先生の賞状を制作したことで大きく報道され、PRも十分できた。</p> <p>ほかにも、アクトビレッジおので開催されたイベントに出向いての紙すき体験ワークショップを実施し、小野和紙を利用した祝儀袋の制作、色紙の作成などの新たな商品開発にも取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none">・厚東川中生徒の参加人数：63人・小野小児童の参加人数：18人・ワークショップでの体験人数：50人・グリーンツーリズム参加者数：25人

<p>助成事業等の効果について (期待した効果は得られたか)</p>	<p>児童・生徒の積極的な参加により、地域の伝統を継承する事の大切さを伝える効果は得られた。</p> <p>また、本庶佑先生の賞状を作成したこともあり、PR効果は期待以上に得ることができた。</p> <p>さらに、徳地町の紙すき工房へ視察研修で赴いた結果、新たな紙すき技術の習得もできた。</p>
<p>評価や反省を踏まえた今後の展望</p>	<p>今年度は、助成金の効果もあり、取り組みの幅を広げる事ができた。</p> <p>来年度以降は、地域や関係者全員でアイデアや意見を出し合い、多角的な和紙づくり活動に取り組みたい。</p> <p>また、新商品の開発には着手出来たが、ビジネス的な展開まではたどり着けなかったため、来年度はビジネス的な展開も視野に入れて取り組みたい。</p>



添付書類

助成事業決算書

帳簿 (写)

その他事業の執行に必要な書類 (写真等)